**「令和元年度群馬県キャリア教育研究大会」**

**～振り返り活動の充実を通して～**

太田市立太田小学校　小倉隼人

1. **はじめに**

本校は全校児童４４８人の中規模校である。年間を通して朝活動や児童会活動に取り組んでいる。

本校では、「振り返り活動の充実」を図ることで、

1. 規範意識、②相手を思いやる力、③自己有用感の向上を目指し、

キャリア教育へつなげていこうと考えた。

1. **実践の概要**

自分の行動を振りかえる活動として・・・

　　　　（１）自己内対話による振り返り

　　　　（２）他者との交流による振り返り

（活動例　運動会　縦割り活動）

**（１）自己内対話による振り返り**

活動に対して、自分がどれだけ活動できたかを振り返る。項目に沿って文章記述で表現させた。

運動会のクラススローガンを決める話し合い活動。自分の目標以外にも、友達との関わりについても意識させた。

**（２）他者との交流による振り返り**

「パチパチカード」に記入し、団のメンバー同士で交換し合う。集まったカードは１枚の紙にまとめ、教室に掲示した。

同じ団のメンバーが、日々の練習でどんなことを頑張っていたかを記録しておく。「パチパチカード」の活動に使用する。

1. **まとめ**

《成果》

・児童が振り返りの活動を楽しみにするようになった。

・友達のよい所を見て、生活していこうとする態度が養われた。

・通信等で家庭に知らせると、より効果的である。

《課題》

・これらの資料をキャリアパスポートとして、どこまで残していくかという選別。

・児童の変容を客観的な数値として捉え、具体的な手立てを考えていく必要がある。